

国際平和拠点ひろしま構想推進計画(2019-2021)の概要



【目指す姿(チャレンジビジョン)】

世界で最初の被爆地として、平和に関する資源が集まり、平和のための活動が効果的に生み出され、核兵器のない平和な世界の実現が着実に進められるよう、具体的に貢献できる広島国際平和の拠点化が進んでいる。

現行計画の取組(H28-30)と成果	取組の方向	次期計画の取組概要(2019-2021)
--------------------	-------	----------------------

1 核兵器廃絶への取組

<p>(1)広島からの核兵器廃絶のメッセージの継続的発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 被爆の実相の伝承と核兵器廃絶の訴えの継続 各国の政府関係者・機関や国際世論形成に影響力を持つ者・団体等による広島訪問の推進 G7外相会合、オバマ大統領の広島訪問 <p>(2)世界の核軍縮・不拡散のプロセス進展のための働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各国の核軍縮等の取組状況を調査・分析・評価する「ひろしまレポート」の充実 ~ 元米国国防長官ウィリアム・ペリー氏他の推薦メッセージ 核軍縮等をテーマとした多国間協議の場「ひろしまラウンドテーブル」の充実 NPT運用検討会議に向けた提言(議長声明)の作成・提出 国際会議の広島開催誘致 国連軍縮会議、核軍縮の実質的な進展のための賢人会議 県の取組に関連した研究の実施と成果の蓄積 国際的な研究機関と連携した共同研究の実施 国連軍縮研究所(UNIDIR)、ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)、オスロ平和研究所(PRIO)、王立国際問題研究所(Chatham House) 	<ul style="list-style-type: none"> オバマ大統領の来広による機運の高まりを、各国政府に大きな変化として及ぼしていく。 世界トップの研究機関との連携協定・共同研究を、ネットワークへと進めて、国際社会へ影響力を与えられる提言を作成。 核抑止による安全保障という固定観念からの脱却を、核兵器国及び核の傘に依存する国々に促す。 	<p>(1)広島からの核兵器廃絶のメッセージの継続的発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 被爆の実相の伝承と核兵器廃絶の訴えの継続 各国の政府関係者・機関や国際世論形成に影響力を持つ者・団体等による広島訪問の推進 ★東京オリンピック・パラリンピック開催を契機としたスポーツ界をはじめとする各界のリーダーの広島訪問を働きかけ <p>(2)世界の核軍縮・不拡散のプロセス進展のための働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各国の核軍縮の取組状況を調査・分析・評価する「ひろしまレポート」の充実 ★レポートをテーマに、米国の主要なシンクタンクと核軍縮フォーラムを開催 ★一般市民向けの分かりやすい冊子を作成 核軍縮等をテーマとした多国間協議の場「ひろしまラウンドテーブル」の充実 ★核抑止論に頼らない新たな安全保障理論の構築に向けた政策提言 国際会議の広島開催誘致 ★国際的NGOと連携した人材育成講座の開設 「(仮称)広島核廃絶アカデミー」を開講し、核廃絶に向けた具体的な行動が取れるリーダーを育成
---	---	---

2 平和構築のための取組

<p>(1)復興・平和構築のための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニタール・JICAとの連携 外部資金を活用した人材育成事業の実施 県内大学等との連携 「グローバル未来塾inひろしま」の実施 「ひろしまジュニア国際フォーラム」の開催 オンライン平和学習講座の開設 放射線災害医療等の人材育成の拡大 <p>(2)復興・平和構築のための研究集積の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ひろしま復興プロセス研究事業の実施 復興・平和構築研究集積の促進 <p>(3)平和の対話の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際会議の広島開催誘致 国連軍縮会議、核軍縮の実質的な進展のための賢人会議[再掲] 対話の場、和平対話事業協力 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の目標数は達成しており、今後、持続可能な事業として、効率化を進めていく必要がある。 オンライン化・英語化により幅広く世界の若者に学習する機会を提供することで、量的拡大を図る。 	<p>(1)復興・平和構築のための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニタール・JICAとの連携 外部資金を活用した人材育成事業の実施 県内大学等との連携 放射線事故及び災害に対応できる医療人材等育成の拡大 <p>(2)復興・平和構築のための研究集積の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ひろしま復興プロセス研究事業の実施 復興・平和構築研究集積の促進 <p>(3)平和の対話の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際会議の広島開催誘致 対話の場、和平対話事業協力
---	--	--

★ 持続可能な平和支援メカニズムの構築

<p>○ 持続可能な平和支援メカニズムの実現に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の高校生を対象とした世界規模の会議の開催 ~「ひろしまジュニア国際フォーラム」の開催[再掲] 経済界における平和に対する機運醸成を高めるための仕組みづくりを推進 ~「国際平和のための世界経済人会議」を開催 -フィリップ・コトラー教授から3つの提言を受ける -ジャック・アグリ氏が所属するグローバル・ポジティブ・フォーラムとの覚書締結 新たな資金獲得プログラムの検討・実施による推進資金の集積 平和に関する人材、知識・情報、資金などを集積して、継続的な平和活動を可能とする仕組みの事業推進主体としてのセンター機能の方向性の具体化 ~内閣府から広島県が「SDGs未来都市(※)」に選定され、交付金を獲得 (※)国連が2020年を期限に定める持続可能な開発目標であるSDGs(エスディージーズ)の達成に向けて、優れた取組を提案する自治体 ピースコンサートの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 世界経済人会議にNGOや市民社会の参画を促す。 資金確保を進めていく。 センター機能の強化・整備 《必要なセンター機能》 ・核軍縮・核廃絶に貢献する政策提言のコーディネート機能 ・広島市の平和の取組への賛同者の拡大を可能とする機能 ・オンライン平和学習講座などの教育・人材育成機能 	<p>○ 持続可能な平和支援メカニズムの実現に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしまジュニア国際フォーラム」の開催 ・経済界における、平和に対する機運醸成を高めるため、「国際平和のための世界経済人会議」の開催や起業推進ネットワークの形成を推進 ★核抑止論に頼らない新たな安全保障理論の構築に向けた政策提言[再掲] ★ウェブを活用した平和人材育成プラットフォームの構築 ★広島の情報一元化し、コミュニティ機能を有するウェブサイトの構築 ★国内外からの資金獲得と取組の重点化・継続的な見直し ★賛同者拡大のための2020年(被爆75周年)記念行事の開催 被爆75周年となる2020年に、核兵器廃絶に向けた機運を高めるための記念イベントを開催し、平和の取組を生み出すプラットフォーム広島の形成を進める。
---	--	---

○ これまでの取組
★ 今後、充実させる取組

チャレンジビジョン目標

推進計画目標

②① 平和に関する人材、知識情報、資金などを集積するための仕組みや環境の整備

このため、核抑止に替わる新たな政策づくりと広島への取組への賛同者の拡大を進める。世界各国の多様な主体と協働して、各国政府に、核兵器廃絶の働きかけが可能な状態を創出する。